



### 公民館講座から 幻想絵画に

猪爪彦一さん(32歳・内野町)

洋面壇の新人登竜門として多くの画家を輩出している井賞展は、文壇に例えらるると川賞。この安井賞展に昨年、一昨年と連続入選した。二十歳の時、家族の勧めで中央公民館の「油絵講座」に

入り、絵筆を握りはじめた。本業は内野町の量販さん。昼は量販、夜は油絵。そんな生活の中で、幻想的な心象風景の世界に入る。大きな画面に魚、卵、時計などが一見、無造作に並べられたメルヘンチックの猪爪彦一さん。五十一年に第一回展。二回目は五十五年を開いた。今年、三回目の挑戦も予定しているとか。



「絵と家庭を分けて描く。そんな生活の中で、自分を見つめ、自分の世界を創り出していききたい」と語る猪爪彦一さん。公民館講座から出発し、成長している貴重な若者の一人だ。

### これからは オペラの作曲も

後藤 丹さん(30歳・紫竹山)

「青き波寄せる浦に」の曲で知られる「新潟市歌」。この曲を昭和四十四年に作曲したのは、当時、新潟高校二年生だった後藤丹さん。その後、東京芸術大学の作曲科に進み、現在は加茂晴星短期大学と新潟大学で音楽を



教えている。小学校五年生のとき、作曲に興味を持ち、ピアノを習い始めた。そして六年後に「新潟市歌」を作曲。昨年の芸能まつりでは、オーブニングステージ「ふるさとの四季」春の部も作曲している。高志高校、山瀬中、江南小などの校歌も多数手掛ける。「校歌の作曲は、自分の母校が増えたようで格別」という。ピアノ以外にもフルートやチェロを奏でる。最近是指揮も始め、昨年は新潟音楽協会でもモーツァルトのオペラを指揮するなど多忙。「これからは、オペラの作曲を手掛けてみたい」と意欲満々である。

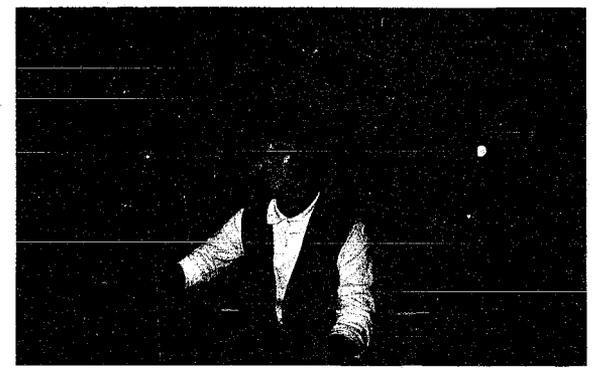
### 明日に翔けろ

新幹線開業から一年。火花を散らして疾駆する白い車体は何を運んできたのだろうか。新潟もゆるやかに変わっていく。春には駅構口に巨大なビルが立ち上がり、新しい街が姿を見せはじめる。この新潟で、季節風に耐え、暑り空の下に力を蓄える若者があふれている。あるいは遠征に、あるいはキャンパスにあるいは一本のバイパスで、そして舞臺に姿を見出して...

### ミュージカル 「青い鳥」を演出

野本妙子さん(22歳・田島)

市内に五つほどある劇団の中で、やりたいことはたぬらわず、なんでもやろうというのが「劇団かもめ」。アンタラもの、S.F、ホームドラマに喜劇と手分け、三月三日には、県民会館でミュージカル「青い鳥」を上演する。野本さんは、この「青い鳥」の演出を担当。高校卒業後、保険会社に就職し、自営と会社の往復が一年間続いた。そんな生活に物足りず、学生時代から興味のあった演劇の道へ一直線。「演劇のおもしろさは、自分の声と体でなにか表現できること。生の迫力です。舞臺に上がり拍手を浴びた時は、なんとも言えない。今回は、せりふで盛り上った感情を音楽と踊りで、より印象づけていきたい」と野本さんは目を輝かせている。ガンバレノ野本さん。



### 跳べ！ロス五輪へ —女子走り高跳び—

佐藤 恵さん(17歳・沼垂高(年)

日本陸上界の女子走り高跳びのホープ。昨年七月、市陸上競技場で開かれた「ロサンゼルスオリンピック記録突破競技会」(参加標準記録は八百六十六で、八百九十を跳び、昨年の全日本ランキング第一位に躍り出た。世界のジュニア記録(十九歳未満)のナンバーワンでもある。すうりと伸びた足、身長一七五の恵まれた体を生かし、ヒールとバーを越える。六月、日本陸連で正式決定されるが、七月から始まるロスオリンピックの代表に選ばれることは確実。「もしオリンピックに出たら、選手生活じゃなく、決勝まで進みたい」夢は広がる。世界記録は二メートル四世界一流レベルに仲間入するには、八百九十五以上を跳ばなければならぬ。「早く福光先輩(八百九十三日本記録保持者)の記録を破りたい」とキツパリ。

### 謹賀新年

昭和五十九年一月一日

新潟市議会議員  
市民クラブ

議長

社会党市民連合  
副議長

共産党議員団

公明党議員団

民社党議員団

無所属

- 早渡石田佐島真新古土佐淵今浪山佐須内小服細羽羽山阿大黒田川小水渡松野伊藤藤若川橋伊齋仁丸高氏小大平村加
- 福辺垣中木田島保川屋木田井谷田野田田林部野沢田田部和田村島石野辺原沢塚巻林島本藤藤見山野田山野田藤
- 繁義正 利博俊ヨシ修誠 洵 信 正秀武夫吉 重光幸悖藤寛 仁キ忠 定一富 徳 勇大
- 卓慎茂実茂雄郎樹久信英夫イ 治一 清子 進吾博雄男雄一男正清信夫作衛郎実郎ソ 蔵勝仁 稔雄彦保一進一久甚郎 輔